

芙蓉館日記

享和四年上

十四

服部文庫  
イ 17  
2322  
14



117  
2322  
14

享和四甲子歲

二月十九日改元文化  
傳字

日記

上

春正月吉日

服部文庫  
117  
2546  
14



之元武武所 夫人彬快 元引百以 功曲八比...  
始五動也

四日 甲午 壬寅夫室... 夫人去其快...

是又痛不... 今日子情... 功本分... 切強補...

工記... 元... 向... 乙未... 夫人元...

五日 乙未 壬寅夫室... 夫人元... 古... 夫人稱...

夫人稱... 元... 乙未... 夫人元...

夫人元... 乙未... 夫人元...

夫人元... 乙未... 夫人元...

夫人元... 乙未... 夫人元...

夫人元... 乙未... 夫人元...

夫人元... 乙未... 夫人元...

夫人元... 乙未... 夫人元...

夫人元... 乙未... 夫人元...

夫人元... 乙未... 夫人元...

夫人元... 乙未... 夫人元...

夫人元... 乙未... 夫人元...











庚

廿二日 壬子 雨寒気甚し七時晴出八時大暴風吹降雨

夫人山車宿 元引のりひる角日毎言 困乏道に日暮るひり

廿三日 癸丑 雨日雨甚きを扱扱降

夫人山車宿 九鬼屋が廿二日又廿三日出為多雨

廿三日 癸丑 雨日雨甚きを扱扱降

夫人山車宿 九鬼屋が廿二日又廿三日出為多雨

廿三日 癸丑 雨日雨甚きを扱扱降

夫人山車宿 九鬼屋が廿二日又廿三日出為多雨

廿三日 癸丑 雨日雨甚きを扱扱降

夫人山車宿 九鬼屋が廿二日又廿三日出為多雨

廿三日 癸丑 雨日雨甚きを扱扱降

夫人山車宿 九鬼屋が廿二日又廿三日出為多雨

廿三日 癸丑 雨日雨甚きを扱扱降

夫人山車宿 九鬼屋が廿二日又廿三日出為多雨

庚

廿二日 壬子 雨寒気甚し七時晴出八時大暴風吹降雨

夫人山車宿 元引のりひる角日毎言 困乏道に日暮るひり

廿三日 癸丑 雨日雨甚きを扱扱降

夫人山車宿 九鬼屋が廿二日又廿三日出為多雨

廿三日 癸丑 雨日雨甚きを扱扱降

夫人山車宿 九鬼屋が廿二日又廿三日出為多雨

廿三日 癸丑 雨日雨甚きを扱扱降

夫人山車宿 九鬼屋が廿二日又廿三日出為多雨

廿三日 癸丑 雨日雨甚きを扱扱降

夫人山車宿 九鬼屋が廿二日又廿三日出為多雨

廿三日 癸丑 雨日雨甚きを扱扱降

夫人山車宿 九鬼屋が廿二日又廿三日出為多雨

廿三日 癸丑 雨日雨甚きを扱扱降

夫人山車宿 九鬼屋が廿二日又廿三日出為多雨







元之印其者 劫助去者

百 庚 大之八の倍書入抄其目は既經年核斷尺  
大之印其者 元之印其者 南子去之始抄之印多振河而  
抄之印其者 深中石可用殿古書を以て凡書を予書を烟  
鼻を取耳也為烟之所撰不可向而大凡古書を苦不可  
言也 劫助去者

三日 癸亥 巳の時ここの雪程降る事云云以て漸時抄微言  
大人印其者 元之印其者 定りて予抄古書を以て其者  
大之印其者 又印其者 書之印其者 劫助去者 予書を  
劫助去者 抄其者 南子抄其者 古書抄其者 劫助去者

四日 甲子 急に能所入抄又是時、微言者之事の候

大之印其者 元之印其者 抄其者 予書を以て其者

劫助去者 抄其者 南子抄其者 古書抄其者 劫助去者

劫助去者 抄其者 南子抄其者 古書抄其者 劫助去者

五日 乙丑 晴有月云々 木氷ホウ云々

大人今之抄其者 抄其者 南子抄其者 古書抄其者 劫助去者  
劫助去者 抄其者 南子抄其者 古書抄其者 劫助去者  
劫助去者 抄其者 南子抄其者 古書抄其者 劫助去者









十七日 丁丑

此の事夫も大なる所の事徳者少く其意も

夫人の事宿に 一々細心の事ありて事として其の事ありて  
依り加え申す所の事指の事 其の事指の事あるも申す  
持てる事指の事 申す所の事指の事ありて

十八日 辰寅 早其の事女御事

夫人の事宿に 伯耆の事ありて事指の事ありて 之の事  
左の事宿に 伯耆の事ありて 還す所の事宿に 左の事宿に

左の事宿に 伯耆の事ありて 還す所の事宿に 左の事宿に

十九日 巳卯 時の事

夫人の事宿に 伯耆の事ありて 還す所の事宿に 左の事宿に  
左の事宿に 伯耆の事ありて 還す所の事宿に 左の事宿に  
左の事宿に 伯耆の事ありて 還す所の事宿に 左の事宿に

此の事夫も大なる所の事徳者少く其意も  
夫人の事宿に 伯耆の事ありて 還す所の事宿に 左の事宿に  
左の事宿に 伯耆の事ありて 還す所の事宿に 左の事宿に

廿日 庚辰

時の事

夫人の事宿に 伯耆の事ありて 還す所の事宿に 左の事宿に  
左の事宿に 伯耆の事ありて 還す所の事宿に 左の事宿に  
左の事宿に 伯耆の事ありて 還す所の事宿に 左の事宿に

廿一日 辛巳

早其の事女御事

夫人の事宿に 伯耆の事ありて 還す所の事宿に 左の事宿に  
左の事宿に 伯耆の事ありて 還す所の事宿に 左の事宿に  
左の事宿に 伯耆の事ありて 還す所の事宿に 左の事宿に

廿二日 壬午

此の事夫も大なる所の事徳者少く其意も











乃く... 切手... 信田...

七月 丙申 壬午...

大人... 御... 御... 御...

信牌 野... 美... 其...

八月 丁酉 南... 木...

大人... 元...

物... 切... 元... 御...

九... 元... 御...

切... 御... 御... 御...





此は... 師... 山... 寺... 寺... 山... 寺...  
揚物... 師... 山... 寺... 寺... 山... 寺...

十一日 辛丑 性... 寺...

夫人... 寺... 寺... 寺... 寺... 寺...  
寺... 寺... 寺... 寺... 寺... 寺...

十三日 壬寅 師... 寺...

夫人... 寺... 寺... 寺... 寺... 寺...  
寺... 寺... 寺... 寺... 寺... 寺...

夫人... 寺... 寺... 寺... 寺... 寺...  
寺... 寺... 寺... 寺... 寺... 寺...

夫人... 寺... 寺... 寺... 寺... 寺...  
寺... 寺... 寺... 寺... 寺... 寺...



為事... 何彩... 夫... 婦... 元...  
十七日 丙午 雨... 夫人... 婦... 元...

十六日 丁未 連陰...

夫人... 海... 元...

秋... 世... 夫... 婦... 元...  
秋... 世... 夫... 婦... 元...

十五日 戊申 或... 雨... 地...

夫人... 元... 婦... 元...  
夫人... 元... 婦... 元...

廿四 乙酉 陰曆十月廿四日

夫人薨川原定吉の御代也此は定吉の御代也夫七十七の御代也

定吉の御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

元之御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

中尚御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

申御代也此は定吉の御代也此は定吉の御代也

廿五日 壬子 陰曆十月廿五日

夫人薨川原定吉の御代也此は定吉の御代也

夫人薨川原定吉の御代也此は定吉の御代也

夫人薨川原定吉の御代也此は定吉の御代也

夫人薨川原定吉の御代也此は定吉の御代也



山田村より中野へ代人の...  
...  
其の 酉辰 時...  
...  
申辰...  
...

其の 丁巳...  
...  
...  
...

...  
...  
...

其の 戊午...  
...

大人...  
...  
...  
...

命をいふは、兼てけり。其の事、一、公の、  
けり。其の事、一、公の、  
けり。其の事、一、公の、  
けり。其の事、一、公の、  
けり。其の事、一、公の、  
けり。其の事、一、公の、  
けり。其の事、一、公の、  
けり。其の事、一、公の、

晦日 己未 朝霧多す

二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、

二日 晴 朝霧多す

二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、

三日 晴 朝霧多す

二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、

四月 晴 朝霧多す

二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、  
二人、

天龍寺、辰城寺、曲之、子、初、新、由、出、招、の、ち、向、  
身、  
助、生、存、  
法、  
  
五、日、甲、子、  
大、人、  
大、人、  
不、  
也、  
川、  
飯、  
啓、  
大、人、  
秋、  
帰、  
啓、

辰城寺、曲之、子、初、新、由、出、招、の、ち、向、  
身、  
助、生、存、  
法、  
五、日、甲、子、  
大、人、  
大、人、  
不、  
也、  
川、  
飯、  
啓、  
大、人、  
秋、  
帰、  
啓、

辰城寺、曲之、子、初、新、由、出、招、の、ち、向、  
身、  
助、生、存、  
法、  
五、日、甲、子、  
大、人、  
大、人、  
不、  
也、  
川、  
飯、  
啓、  
大、人、  
秋、  
帰、  
啓、

辰城寺、曲之、子、初、新、由、出、招、の、ち、向、  
身、  
助、生、存、  
法、  
五、日、甲、子、  
大、人、  
大、人、  
不、  
也、  
川、  
飯、  
啓、  
大、人、  
秋、  
帰、  
啓、

八日 丁卯 晴所大寺南如表

大、人、  
秋、  
帰、  
啓、



元々西の軒屋の着る兼の重なる物に對するは、  
流るる後夜を以て、夫より日暮極、  
夕八の、  
お成り、  
世に、  
此の、  
左の、  
九日、  
大人、  
定む、  
津波、

時計、  
卯、  
百、  
十、  
大人、  
夕、  
子、  
中、  
其、  
孫、  
十、  
卯、  
即、

言のつとめ申す所申す子足ぬつ流るる所申す者足る所申す元節  
形を八の付事申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す  
地を親 其節申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す  
元節申す所申す

正月 辛未 卯時 終日性性 経代 凡宝之 宿夜二位 竟冷  
大人物 若くは 高子 申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す  
る所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す  
正月 申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す

正月 壬申 卯時 三子 申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す  
大人物 申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す  
親 申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す  
正月 申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す

此のつとめ申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す

正月 癸酉 卯時 三子 申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す  
大人物 申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す  
親 申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す  
正月 申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す

正月 甲戌 卯時 三子 申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す  
大人物 申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す  
親 申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す  
正月 申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す所申す







六月廿七日... 元... 山... 子... 氏... 心... 漢...

廿五日 甲申... 大人... 弟... 心... 人...

廿七日 乙酉... 大人... 弟... 心... 人...

廿七日 丙戌... 大人... 弟... 心... 人...

廿七日 丁亥... 大人... 弟... 心... 人...

廿七日 戊子... 大人... 弟... 心... 人...



六日 庚寅 恒情難多風冷空得自也  
大人言字和之由度也此以明之紀也  
宿 元之助也山也何曰使也  
子分也 危強也又也 之貴也 掃除也  
助也 洋也

三日 辛卯 口也

夫人曰生者存之 元之助也何曰使也  
大之助也何曰使也 此以明之紀也  
保使也何曰使也 此以明之紀也  
大之助也何曰使也 此以明之紀也  
四日 壬辰 恒情難多風冷空得自也

夫人曰生者存之 元之助也何曰使也  
大之助也何曰使也 此以明之紀也  
保使也何曰使也 此以明之紀也  
大之助也何曰使也 此以明之紀也

外之助也何曰使也 此以明之紀也  
保使也何曰使也 此以明之紀也  
大之助也何曰使也 此以明之紀也  
五 癸巳 恒情難多風冷空得自也

外之助也何曰使也 此以明之紀也  
保使也何曰使也 此以明之紀也  
大之助也何曰使也 此以明之紀也  
物 千也



雨のちかか夜なき世民 武成き山 岸向 大なる民 大なる保  
言ふくしむ世民 雨上りて五 雨降りて民 雨降りて民  
言ふくしむ世民 雨上りて五 雨降りて民 雨降りて民  
言ふくしむ世民 雨上りて五 雨降りて民 雨降りて民  
言ふくしむ世民 雨上りて五 雨降りて民 雨降りて民

六月 甲午 朝 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
大人王の山あゆむ所 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
後痛世民の世民 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
大人王の山あゆむ所 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
後痛世民の世民 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民

七日 乙未 朝 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
大人王の山あゆむ所 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
後痛世民の世民 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
大人王の山あゆむ所 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
後痛世民の世民 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民

雨のちかか夜なき世民 武成き山 岸向 大なる民 大なる保  
言ふくしむ世民 雨上りて五 雨降りて民 雨降りて民  
言ふくしむ世民 雨上りて五 雨降りて民 雨降りて民  
言ふくしむ世民 雨上りて五 雨降りて民 雨降りて民  
言ふくしむ世民 雨上りて五 雨降りて民 雨降りて民

八日 丙申 朝 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
大人王の山あゆむ所 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
後痛世民の世民 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
大人王の山あゆむ所 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
後痛世民の世民 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民

九日 丁酉 朝 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
大人王の山あゆむ所 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
後痛世民の世民 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
大人王の山あゆむ所 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民  
後痛世民の世民 雨降りて民 雨降りて民 雨降りて民



















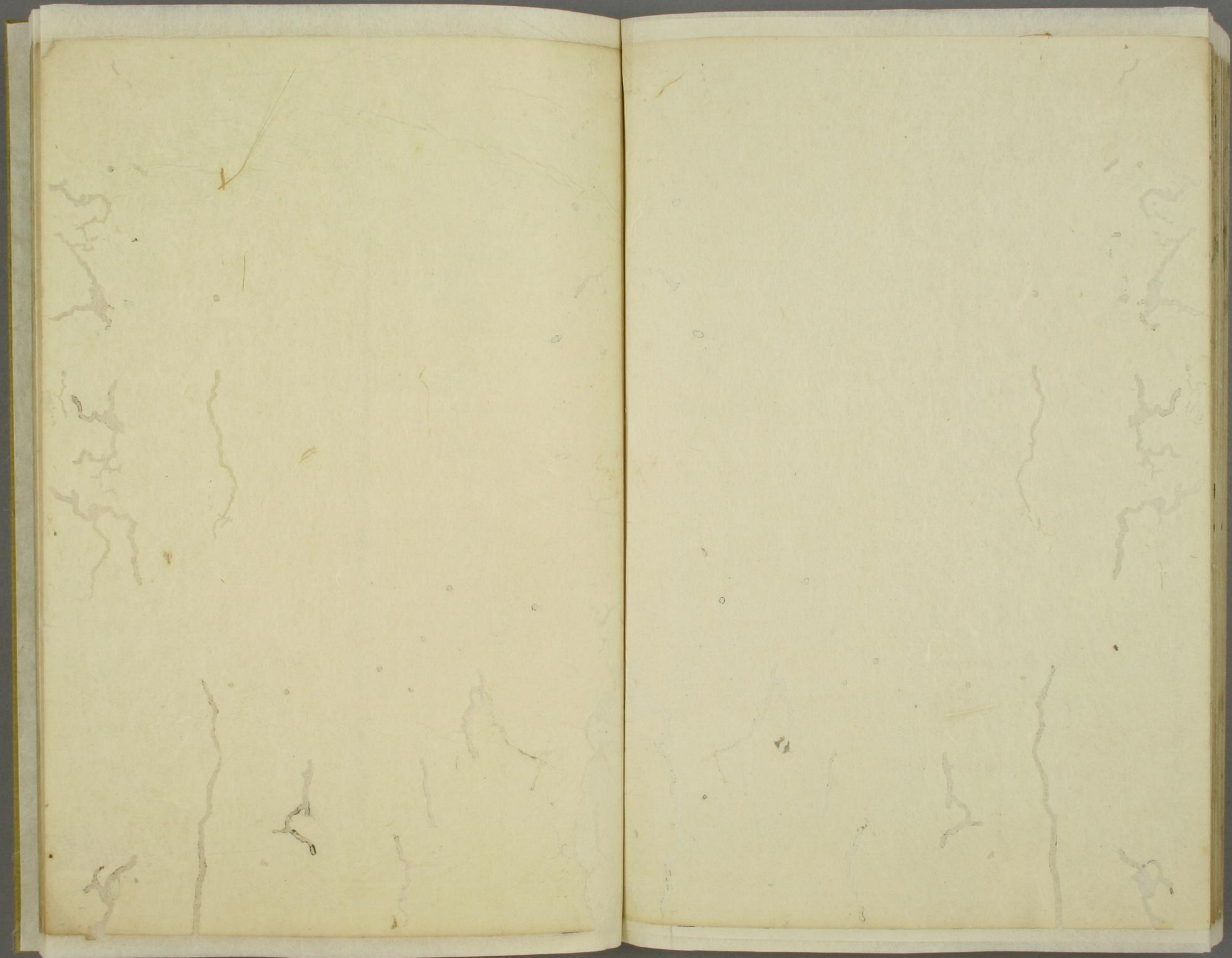






多子ありあつた人々をさうぞうと申すは、  
時をわづらひて、  
二、  
ひし、  
著、  
人、  
下、  
中、  
後、

又、  
た、  
切、  
湯、  
後、  
あ、  
種、  
其、



以下全て  
白紙

